



岡山大学
OKAYAMA UNIVERSITY



産業・科学革新人材事業



J-PEAKS

2026年10月16日（金）
国立大学法人岡山大学
10月定例記者発表（学長発表）

文部科学省・JST「産業・科学革新人材事業（INSIGHT）」の採択について

産と学の人材循環を生み出すインダストリアルラインの構築

～アカデミアラインとインダストリアルラインの『ツインピークス』で

実現する知・人材・資金が循環する大学経営～

国立大学法人岡山大学 学長

（株）フジワラテクノアート 代表取締役副社長

研究・イノベーション共創機構 副機構長

研究・イノベーション共創機構 主任URA

研究・イノベーション共創管理統括部産学連携課 専門員

那須 保友

藤原 加奈

河本 雅紀

坪谷 育実

吉田 昌彦

1. 事業内容

6. 「産業・科学革新人材事業」の概要

基本方針

- 先端技術分野における産業界・アカデミア双方での優秀な人材層の抜本的な充実・強化や、研究開発力の飛躍的向上に向けて、国が大学等に対して**戦略的かつ弾力的な人的資本投資を大幅に拡充**。
- これを起爆剤に、産業界において、複数年度にわたる**研究開発や人材育成に対する投資拡大**を実現。

<3つの基本方針>

産官学による
先端技術分野設定

産業界から
大学への投資拡大

大学の人事給与
マネジメント改革

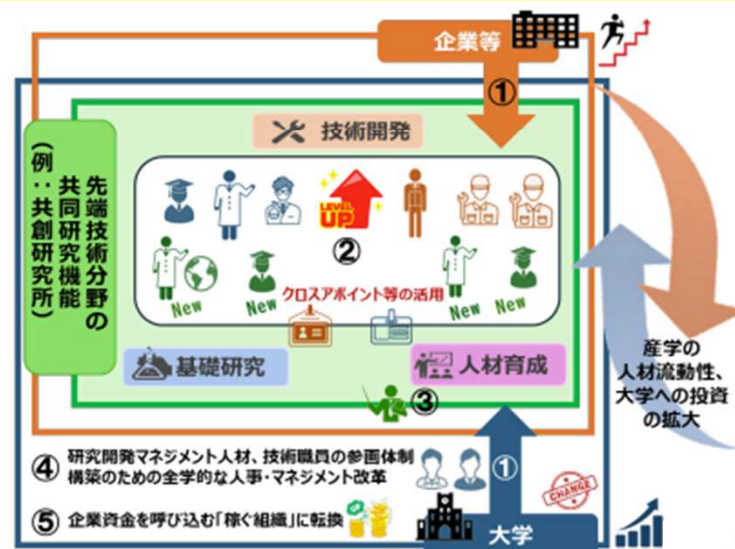
事業内容

※ 令和7年度補正予算内容

- **先端技術分野**について、大学が産業界等と連携して作成する**研究開発・人材育成計画**を支援。大学においては、国の支援と合わせて、産業界からの投資を得て、上記計画を実現。
- 大学の**人事・給与マネジメント改革**を一体的に実施し、**人的資本投資の拡充**の好循環を実現。

産学協働による研究開発・人材育成（研究者・技術者等）を一体的に推進するため、次の**5つの取組**を総合的に充実・強化する大学（**20大学程度、1大学あたり年間3～5億円程度**）を支援（3年間で270億円）

- ① 大学・企業等による**産学協働の研究開発等**を通じた**人的交流・人材流動**の促進（双方による**雇用実現**）
- ② **先端技術分野**に携わる**新たな研究者・技術者等**の育成・確保（**質的・量的規模の拡大**）
- ③ **大学院生及び学部学生**を対象とする実践的・実務的な**教育プログラム**の開発・推進
- ④ 大学において**産学協働**を推進・強化するための**学内専門組織・体制**の整備・構築
- ⑤ **民間投資を拡大**するための大学における**新たな機能・仕組み**の充実・強化



事業実施期間

令和8年度～令和13年度（6年間（予定））

2. 事業趣旨・公募スケジュール

INSIGHT事業は、

- 大学と企業の垣根を越えた人材流動化と知の集積を促進し、先端研究と次世代人材育成の好循環を創出することでイノベーション創出及び産業競争力の強化を図る。
- 学部学生・大学院生に加え、初等中等教育段階も視野に入れ、将来の産業界を牽引する高度人材の育成に向けた実践的・実務的な教育を推進する。
- 産学共創活動への貢献が適切に評価される人事・給与・評価制度を整備するなど、大学における経営・組織運営改革を推進する。
- 民間投資を拡大を促進するため、大学が持つ知的資産や研究成果を最大限に活用し、新たな価値創出につながる機能・仕組みを構築する。

※単なる産学連携事業ではなく、「研究・教育・人事制度・資金の流れを一体的に変え、大学と企業がともに成長する仕組みをつくる事業」です。

【公募・選定のスケジュール】

- 公募期間：令和8年4月28日～令和8年6月24日正午
- 書面審査期間：令和8年6月下旬～7月下旬
- 面接審査：令和8年8月19日、20日、27日
- 審査結果の通知：令和8年9月29日

3. 2026年度INSIGHT採択大学

INSIGHT 2026年度採択16大学 日本地図プロット

JST 産業・科学革新人材事業 (2026年9月30日公表)



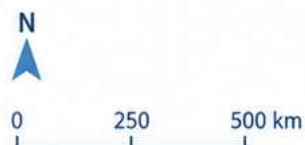
58件応募・16件採択



先端技術分野を対象



研究開発・人材育成・大学改革
を一体支援



採択16大学

1	北海道大学	(北海道・札幌)
2	弘前大学	(青森県・弘前)
3	東北大学	(宮城県・仙台)
4	千葉大学	(千葉県・千葉)
5	東京科学大学	(東京都)
6	早稲田大学	(東京都)
7	横浜国立大学	(神奈川県・横浜)
8	長岡技術科学大学	(新潟県・長岡)
9	富山大学	(富山県・富山)
10	信州大学	(長野県・松本)
11	名古屋大学	(愛知県・名古屋)
12	神戸大学	(兵庫県・神戸)
13	岡山大学	(岡山県・岡山)
14	広島大学	(広島県・東広島)
15	九州大学	(福岡県・福岡)
16	長崎大学	(長崎県・長崎)

出典：JST「産業・科学革新人材事業 (INSIGHT) 2026年度新規採択プロジェクトの決定について」

4. 本学の提案内容

岡山大学 INSIGHT プロジェクト

産と学の人材循環を生み出すインダストリアルラインの構築

—— アカデミアラインとインダストリアルラインの「ツインピークス」で実現する知・人材・資金が循環する大学経営 ——



共創コア (研究開発テーマ)	微生物インダストリー 共創プレミアムコア (株)フジワラテクノアートほか3社	糖質・植物生化学 共創リーディングコア ナガセヴィータ(株)	地球惑星サイエンス 共創リーディングコア DAIKEN(株), (株)三石ハイセラム	住環境ウエルビーイング 共創リーディングコア 萩原工業(株), DAIKEN(株)	参画: 津山工業高等専門学校
--------------------------	--	--	--	---	-------------------

産学共創で実行する5つの取組

① 人材循環・人事制度 産学間の人材循環で、新たな知と価値を生み出す  - クロスアポイントメント等 - 産学共創教員制度 - 人事給与制度改革 (インダストリアルライン等)	② 研究・人材基盤 卓越した研究と多様な人材が挑戦する基盤を強化する  - 産学共創人材バンク - 共創RA・若手研究者育成 - 海外人材・国際連携 - ELSI・安全保障対応	③ 教育プログラム 次世代の人材を育て、社会で活躍する力を創る  - 学部・大学院産学連携教育 - 企業カスタム教育 産学PBL - 中高生向け科学技術人材育成 - 産業革新人材共通プログラム	④ 産学共創拠点・コア 産学共創の司令塔となる拠点・体制でプロジェクトを加速する  - 司令塔としての産学イノベーション共創拠点 - 共創プレミアムコア/共創リーディングコア/共創チャレンジコアの運営 - 共創プロジェクトマネージャー	⑤ 産学共創パッケージ 研究シーズから社会実装まで一気通貫で支援する産学共創パッケージの拡充  - 研究シーズ・共用設備 - 知財・事業化支援 - 企業向けカスタム教育の拡充 - 産学共創コンソーシアム
--	--	--	--	---

4. 本学の提案内容

プロジェクト概要

産学イノベーション共創拠点を中核に、産学で共有する産業ビジョンを起点として、研究開発・人材育成・社会実装を一体化する共創コア群を形成する。インダストリアルラインによる人事給与制度・評価制度改革を通じ、大学研究者・博士人材等が企業現場に参画する「学から産」の流れを強化し、「産から学」との双方向人材流動を促進する。これにより、研究・人材・評価・投資が循環する大学経営システムへ転換し、岡山発の知を世界へ展開する。



J-PEAKS、SPRING、EPOCH、地域構想推進プラットフォーム構築等推進事業などの事業と連携し
大学の“Operating System”刷新へ

参画機関

株式会社フジワラテクノアート、ナガセヴィータ株式会社、DAIKEN 株式会社、
株式会社三石ハイセラム、萩原工業株式会社、津山工業高等専門学校、
ヒューマン・メタボローム・テクノロジーズ株式会社、株式会社リバネス、六甲バター株式会社

事業期間

令和8年10月1日～令和14年3月31日

「研究開発・人材育成計画」の全体構成図（岡山大学）

諸外国の状況

最先端分野研究開発
・人的投資拡大

現状・課題

我が国の状況

投資伸び悩み → 新事業創出伸び悩み・
既存事業競争力低下

科学と産業が
分離

第7期科学技術・イノベーション基本計画（2026-2030）

科学の再興
（知の基盤強化）

AI for Science
（研究の革新）

産学官イノベーション
エコシステムの高度化

人材資本投資・
人材育成の強化

新技術立国・
戦略的重点化

経済安全保障
の強化

地域
イノベーション

日本成長
戦略会議
（17分野）

岡山モデルの強み

●産学の距離が近い

研究者と企業技術者が日常的に
連携・対話（物理面・心理面）

●地域課題と世界課題が共存する実証フィールド

バイオ、ヘルスケア、
防災、DX/AX、エネルギー、
宇宙活動等多様な社会課題を実装



●J-PEAKSを核にした研究力・制度改革

研究力強化と人事・組織改革を
一体的に推進中

参画機関の相乗効果

それぞれの強み（点）をつなげて、
“面”にして経済（産業）につなげる

■岡山大学：総合知と先端研究力
→実用化への加速

■津山工業高等専門学校
→実践技術者育成

①フジワラテクノアート
微生物インダストリー共創
プレミアムコア

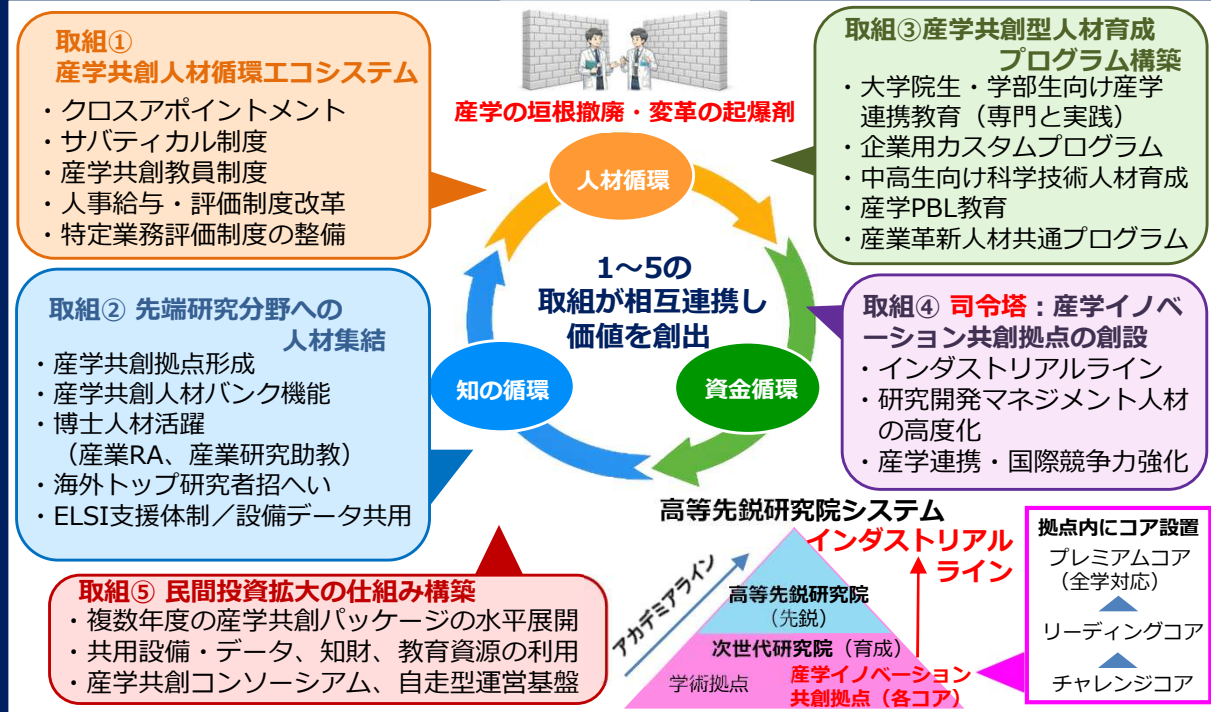
②ナガセウィータ
糖質・植物性化学共創
リーディングコア

③DAIKEN・三石ハイセラム
地球惑星サイエンス共創
リーディングコア
DAIKENは以下※にも参画

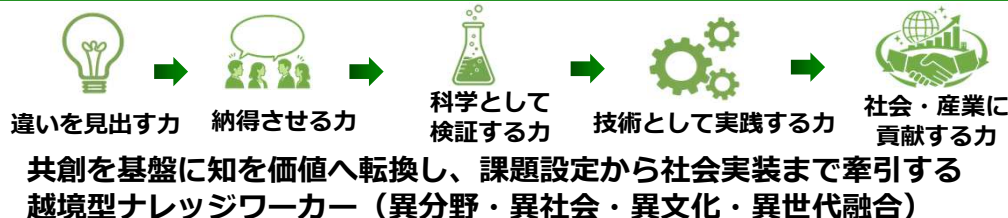
④萩原工業・DAIKEN
※住環境ウエルビーイング共創
リーディングコア

岡山大学 産学イノベーション共創拠点（高等先鋭研究院システム）

大学と企業の壁を超えた「共創エコシステム」を形成 組織・専門性の壁を超え、知が巡り、人が育つエコシステム



岡山モデルが育成する人材像 - 共創型イノベーション人材 -



強力な学内支援基盤と本事業との関わり

■すでに実施中の基盤事業（着実に推進中）

地域中核・特色ある研究大学強化促進事業（J-PEAKS）
研究力強化・領域強化・人事制度・組織・財務改革を推進

研究開発マネジメント人材に関する体制整備事業

次世代研究者挑戦的研究プログラム（SPRING）
博士課程学生への経済的支援・国際研究・キャリア開発支援

大学・高専機能強化支援事業

学部～大学院6年一貫教育・デジタル・AI人材育成の拡充

■今後さらに拡張する取組

先端研究基盤刷新事業（EPOCH）

設備共用・データ活用・技術人材高度化・人機一体改革

未来を先導する世界トップレベル大学院
教育拠点形成（独自実施）
大学院一体改革
インダストリアルPhD等

地域構想プラットフォーム構築等推進事業

産学官金言連携による地域課題解決と人材育成PF構築

産学共創エコシステムの成果・波及効果

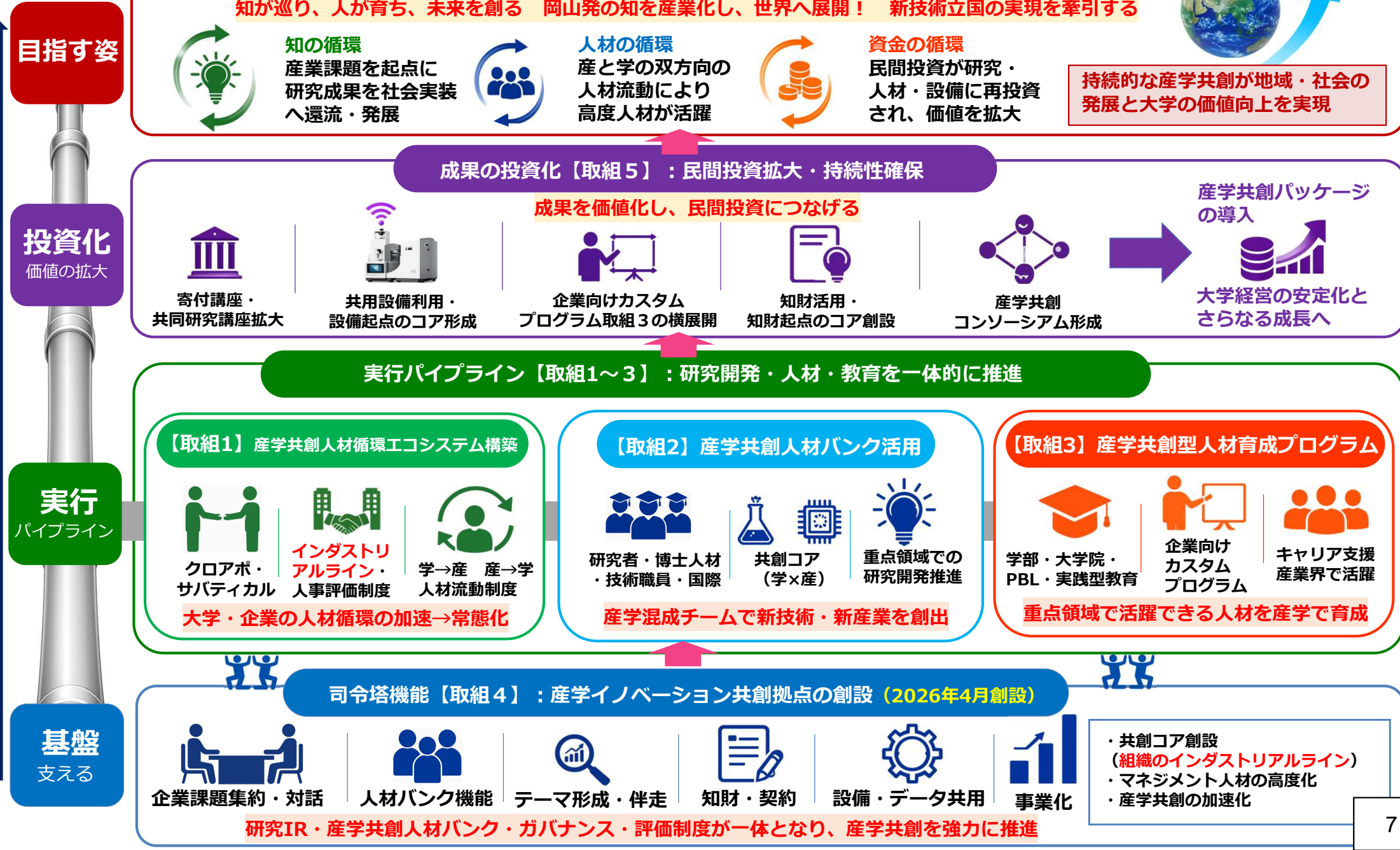


成果を測るための主なKPI

	2025年度	2028年度	2031年度
民間投資共同研究費	738百万円	1,122百万円	1,707百万円
産学人材交流	産→学8名 学→産0名	産→学15名 学→産10名	産→学35名 学→産25名
人材バンク登録数	-	80名	200名
産学プログラム受講者数	-	150名	500名

知が巡り、人が育ち、未来を創る。岡山発の知を産業化し、世界へ展開 新技術立国の実現を牽引

取組間の連携：産学共創の司令塔がパイプラインを駆動、民間投資を拡大、持続可能なエコシステムを実現



産学共創強化に向けた実施体制（高等先鋭研究院システムに産学イノベーション共創拠点創設）



プロジェクト統括
那須 保友 学長
(研究担当理事を兼務)



大学改革
プロジェクトマネージャー
河本 雅紀 管理統括部長
(副機構長を兼務) #
経営企画・人事・財務・学務
認定URA

- 関連組織
- 研究・イノベーション共創機構

 - 管理統括部
 - 研究企画戦略室 (URA)
 - 学術研究推進本部
 - 産学官連携本部
 - 医療系本部
 - 知的財産本部
 - スタートアップ・ベンチャー創出本部
 - IR統括
- 総合技術部

 - 学務部
 - 総務部 (人事課)
 - 企画部 (経営企画課)

認定URA
…(一社)リサーチ・アドミニストレータースキル認定機構認定

2026年4月創設
産学イノベーション共創拠点長
櫻井 淳 副理事
(イノベーション担当)



INSIGHT事業においては、全取組の中核を担う。
研究開発、人材育成・民間投資を一体的に推進する。

IR 分析



主任 URA
松本 匡史
IR統括

ELSI、法務、知財、リスクマネジメント、社会受容性評価

統括プロジェクトマネージャー



(正、知財・TLO・
社会実装)
坪谷育実 主任URA



(副、学術)
畑中 耕治 主任URA



(副、産学連携)
今井 明 産学官連携本部長
主任URA

正・副で連携して、産・学の連携強化、コア創設、コア間の連携・コアの昇格等、拠点長・プロジェクト統括と連携して “ツインピークス化”を実現

共創コア（研究開発テーマ）

微生物インダストリー共創プレミアムコア
(全学対応)

参画機関：(株)フジワラテクノアート



プロジェクトマネージャー
坪谷 育実 主任URA

糖質・植物生化学共創リーディングコア

参画機関：ナガセヴィータ(株)

プロジェクトマネージャー

矢野 健三

研究・イノベーション

共創機構/主任コーディネーター



地球惑星サイエンス共創リーディングコア

参画機関：DAIKEN(株)、(株)三石ハイセラム

プロジェクトマネージャー

松島 和季

研究・イノベーション

共創管理統括部/主査 (# 認定URA)



住環境ウェルビーイング共創リーディングコア

参画機関：萩原工業(株)、DAIKEN(株)

プロジェクトマネージャー

松本 尊道

研究・イノベーション

共創管理統括部/主査 (# 認定URA)



産学イノベーション共創拠点・コアの位置づけ

新技術立国の核となる！：重要産業分野における研究開発・人材育成に取り組み、総合大学として「全体の知の結集 × 企業連携」での技の結集

成長・拡張

二つのキャリアラインを双璧に
— ツインピークス —

アカデミアライン
学術研究拠点



インダストリアルライン
産学イノベーション共創拠点

高等先鋭研究院

資源植物科学研究所
惑星物質研究所
異分野基礎科学研究所
文明動態学研究所
未来医療創発研究所

次世代研究院

大型資金獲得拠点
研究拠点形成事業

相互交流
相乗効果

産学イノベーション共創研究所
創設へ

関係者の融合・協働・総力結集で

産学イノベーション
共創拠点

共創プレミアムコア
共創リーディングコア
共創チャレンジコア

産業界と
融合・協働

拠点におけるコアレベル

共創“プレミアム”コア（全学対応型）

- ・テーマ設定：部局を越えた全学対応
- ・リーディングコアからのアップグレードもあり得る
企業間・大学間の連携を推奨
→ **スーパープレミアムへ**
- ・(株)フジワラテクノアートは第1弾、意識改革を加速

共創“リーディング”コア（特定テーマ型）

基本的枠組み

- ・研究所・研究員がいる企業を想定
- ・「学」→「産」への流動：「学」からの受け入れ
- ・従来の共同研究相手先企業向け
→「組織」対「組織」へ拡充

共創“チャレンジ”コア（チャレンジ枠）

- ・地方の比較的小規模な企業を想定
- ・大学の役割：「中央研究所」あるいは「コンサルタント」、ただし継続性を条件とする
- ・「産」から「学」の流れを加速
博士取得等を含めた支援も

2026年4月に、産業界と連携し、新技術創出から世界展開を担う「産学イノベーション共創拠点」を創設

- ・多様な企業の要望（研究・人材育成）、レベル感に応えられる柔軟な枠組みとする。
- ・産学イノベーション共創拠点を「学」と「産」だけでなく、「学」が糊付け役となって「産」と「産」の出会いの場とし、多様な新産業創出を図る。
- ・「コア」単独の活動だけでなく、コア間連携やコアと学内の高等先鋭研究院等とも連携
- ・岡山大学は学生起点の社会課題解決が進展。コアの活動に未来人材の参画による化学反応も期待できる。

微生物インダストリー共創プレミアムコアの概要

微生物インダストリー共創プレミアムコア（全学対応）

研究開発テーマ①：伝統醸造の叢智を起点とする脱化石資源型
バイオものづくり基盤の確立と100兆円規模の価値創生

研究開発課題：伝統醸造の知見を基盤とした循環型微生物生産プロセスの構築と社会実装

寄付講座「微生物インダストリー講座」での共同から、岡山大学・フジワラテクノアート双方のビジョンに共感し、プロジェクトの域を超え、微生物が司る循環の知を岡山から次の産業へ、社会の形づくりの共創を目指し**2025年5月から共創構想の議論を開始。組織の枠組みを超えた集合体**を形成（産学共創人材バンク構築）約40人の研究者・URA等、事務職員、技術職員が参画（**組織の垣根を超え、異分野の研究者、企業研究者が融合**）

共創に向け連絡会議（勉強会）を5回開催
（2025年12月25日～2026年4月23日）



研究開発リーダー



森 也寸志
環境生命自然科学学域
学域長

設立に向けた学内説明会
（2026年5月15日 開催）



参画機関責任者



(株)フジワラテクノアート
狩山 昌弘
専務取締役

産と学、
文と理、
基礎と応用・社会実装

お互いが理解し合う
共通言語で協働する
場としてのコアを構築

■岡山大学、(株)フジワラテクノアート両者のビジョンに共感し、2050年に向け先端知と高度な技術を掛け合わせ、持続可能な循環社会の構築とWell-beingの実現、そして**岡山から世界を革新する挑戦を共に実行！**
（**5年にわたる寄付講座での活動をベースに2025年5月から構想をスタート**）

岡山大学長期ビジョン2050
－地域と地球の未来を共創し、世界の革新に寄与する研究大学－



フジワラテクノアート開発ビジョン2050
醸造を原点に、世界で微生物インダストリーを共創

■微生物インダストリー共創プレミアムコアについては、**Co-founding Chairs**として、那須保友 学長・藤原加奈 副社長が就任し、活動を牽引



■共創コア内に4つのユニットを設け、岡山大学研究者（異分野融合）と(株)フジワラテクノアートの研究者・技術者が協働（**組織の垣根を超え流動**）し、**研究開発、新産業創出、未来人材育成を加速**。（異分野・異社会・異文化・異世代融合を実践）
微生物インダストリーにより、微生物から**新たな産業、新たな物質、新たなシステムなど、未踏分野・社会変革へチャレンジする**

【5つの研究ユニット】

1. 革新微生物プロセス工学
2. インテリジェント・バイオシステム工学
3. 先端バイオ・ヘルスケア学
4. アグリ・環境バイオエコシステム学
5. 微生物インダスト歴史・経済・文化戦略

微生物インダストリー共創プレミアムコアが先導し、産と学の垣根、部局間の壁を突破！

この動きが、第2・第3のコアを生み出す起爆剤となり、産と学の距離をさらに縮め、共創の動きを一層活発化する。

フジワラテクノアート開発ビジョン2050 醸造を原点に、世界で微生物インダストリーを共創



本テーマの目標と趣意に賛同する企業

ヒューマン・メタボローム・テクノロジーズ株式会社
株式会社リバナエス
六甲バター株式会社

(株)フジワラテクノアート 概要

高いシェアと歴史：

1933年岡山市で創業。売上高約80億円規模で、醸造用の自動製麹装置は国内シェア約80%を誇り、海外展開27か国

職人技の機械化とR&D：

伝統の麹造りを高度自動化し、先端微生物研究や次世代バイオプラント開発にも挑戦する。

微生物インダストリーは、単一企業でも単一研究室でも発展しない。
それぞれの強み（点）をつなげて、“面”にして経済（産業）につなげる
岡山大学と（株）フジワラテクノアートで新たなブランドを構築し、
世界舞台へ挑戦する！

（株）フジワラテクノアート 代表取締役副社長 藤原 加奈





岡山大学 学長
那須保友

1. 評価を変え「学から産」へ人を動かす

インダストリアルラインを導入し、産学共創への貢献を正式な評価・処遇・キャリアに組み込みます。あわせて、教員個人に依存する体制から脱却し、URA、技術職員、事務職員、企業人材等が力を持ち寄るチーム型マネジメントへ転換します。

2. 学術知と技術・社会実装力を掛け合わせ、研究と産業を拓く

参画企業にはINSIGHT事業の趣旨に自ら賛同いただき、人材・技術・設備等の具体的なコミットメントを示していただいています。大学も人材と必要な資源を投入し、共通のビジョンのもと、成果を共に生み出します。

3. 産学共創パッケージで自走する

共同研究、人材交流、設備利用、企業向け教育、知財活用を一体化し、継続的な民間投資につなげます。支援終了後も持続する仕組みとして定着させ、好事例として全国のモデルとなります。

岡山大学で一つの成功事例をつくることが目的ではありません。

大学のOSそのものを刷新するモデルを岡山で実証し、科学と産業、人材と研究、大学と企業が分断されている我が国の構造を変革することを目指します。

そして、岡山で構築した人材循環・研究開発・民間投資の仕組みを他大学・他地域へ展開し、日本の産業競争力と新技術創出力を高めることが、本事業の国への還元です。



岡山大学

OKAYAMA UNIVERSITY



産業・科学革新人材事業

【本件問い合わせ先】

岡山大学研究イノベーション共創管理統括部産学連携課

〒700-8530 岡山県岡山市北区津島中1-1-1 岡山大学本部棟

E-mail : co-creation@adm.okayama-u.ac.jp